

午後の日程

13:00～	8	学級づくり	<p>・外国人子女のいるクラスで、どんなことをしたらクラスの雰囲気がよくなるか、アイディアをグループごとに話し合い、ソシオドラマで演じる。</p> <p>小学校 中学校 高校 3 グループに分ける。</p> <p>① アイディアをだして話し合う 20分 ② グループで演じて修正する。 30分 → 提出 印刷帳合い ③ 発表する。 35分 ↓ 配布</p>	学級集団の親和力や凝集力を高めて、一緒に行動し喜びや悲しみを分かち合える雰囲気をつくるために、どのようなことをすればよいか、考える。
14:25～		まとめ	<p>・まとめをする。</p> <p>Q 1 学校の国際化ということが、おぼろげに見えてきたかどうか 2 外国人子女の気持ちに少し近付くことができたか 3 日本の学校文化を相対的に見ることができたか 4 楽しかったか</p>	講座をふりかえって、反省する。

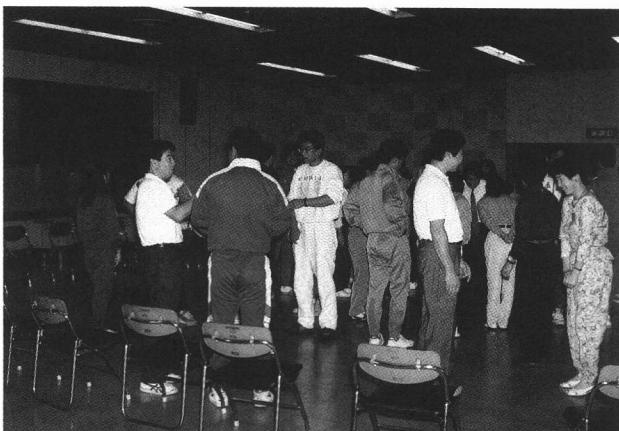
演習案として、準備したものは以上であるが、この他、演習に使用するさまざまな道具立て（課題プリントなど）は、また別に用意した。

(2) 演習の実際

次に、演習の実際について、述べたい。演習計画の「1 ウォームアップ」～「5 ノンヴァーバル・コミュニケーション」の部分 — つまり「6 今日から日本の学校で」の前は、いずれも広い意味でのウォームアップにあたる部分である。

そこで、「1」～「6」までについては簡潔なスケッチで紹介し、「6 今日から日本の学校で」「7 日本の学校に体験入学」については、ドラマにおけるキャストと監督との逐語録的な部分も含め

「アイコンタクト」 散歩しながら、あいさつをしあう



て紹介したい。また、「8 学級づくり」は、時間的に不十分だったこともあり、簡単な紹介にとどめたい。

① ウォームアップ

ウォームアップとして用意したものは、「ストレッチング」と「ボール投げ」「アイコンタクト」「自己紹介」などである。

「ストレッチング」は、文字通りストレッチ体操で体を目覚めさせる。「ボール投げ」は、サイコドramaやカウンセリングの研修会などでよく行うものであるが、大きさも形も決めない一個のボールがあるつもりで、投げたり蹴ったりしながらストロークを送りあって気持ちをときほぐしていく方法である。

「アイコンタクト」は、サッカーのオフト監督の言葉にヒントを得て、今回ネーミングしたものであるが、内容はよく行われているものである。参加者が、椅子のサークルの中を自由に散歩しながら、眼があった人と立ち止まってあいさつを交わし自己紹介しあう。決まった時間の中で何人の人と話ができる、友達になれたか報告するものである。

最後に、椅子を丸くして集まり、自己紹介をしあう。かなり、打ち解けたせいか、講座参加の理由の他に「23歳、独身、恋人募集中」などの表現が出てきた。